

令和2年度「特殊詐欺に関するアンケート」集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q4において、最近、特殊詐欺の手口の主流になっている「キャッシュカードをすり替える手口」を「知っている」と答えた方が約半数にとどまりました。この結果を踏まえ、今後、広報よこはまや様々な啓発媒体を活用し、被害に遭わないようより多くの市民の方々に手口・対策を知っていただくとともに、より効果的な注意喚起の方法を検討していきます。

また、Q14において約8割の方が「地域での発生情報」を提供してほしいと答えていることから、神奈川県警察や区役所等と連携して、迅速かつ具体的な情報提供の方法を検討していきます。

2 アンケートを実施した感想

特殊詐欺について、市民の皆様が被害に遭わないために普段の生活から心掛けていること、または気になっていることなど、様々なご意見を記載いただき、結果の数値からだけでは得られない貴重な意見をたくさんいただくことができました。

Q9の「今後検討してみたい特殊詐欺の対策」に対する自由記載の回答として、「町内会や地域での情報共有や連携ができていない状況であり、地域の防犯対策や連携を強化させたい」とありました。

地域交流が希薄になりがちな現代社会において、個人ではなく地域で取組むことが特殊詐欺撲滅へ向けての有効な対策となるというご意見は区役所・警察署等と地域が連携した対策を考える際の参考にします。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。特殊詐欺に関する率直なご意見をいただき大変参考になりました。

Q12の「特殊詐欺の対策として「留守番電話機能」が有効なことを知っていますか」の質問に対して、よく知っていると回答した方が半数程度だったことから、留守番電話機能の有効性について、より周知を強化しなければならないと考えています。

特殊詐欺の被害に遭わないためには何よりもまず「犯人と会話をしない」ことが重要です。犯人は声を録音されることを嫌いますので、「家の電話を常に留守番電話に設定してすぐに電話に出ない」ことが対策として有効です。ご自身はもちろんのこと、家族・親族・友人・地域の方々にも伝えていただけると幸いです。

今後も、市民の皆様が特殊詐欺の被害に遭わないよう、引き続き注意喚起を行います。

担当：市民局地域防犯支援課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。